

10月6日「職員研修 救急蘇生法」



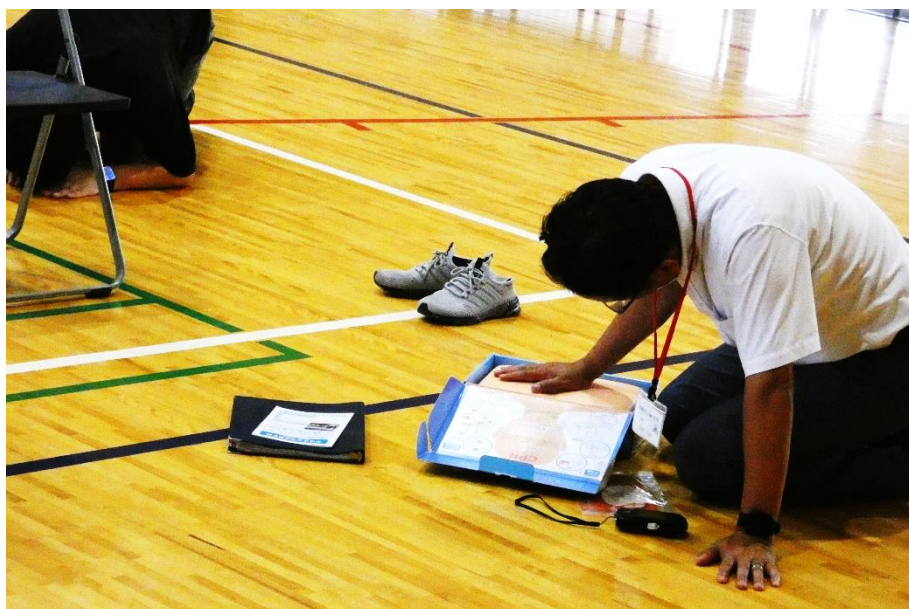
放課後に、外部の講師（中央消防署 救急救命士 向様）をお呼びして、救急蘇生法の講習を行いました。胸骨圧迫と、AED（自動体外式除細動器）の使用法について改めて学びました。



傷病者の両肩を刺激しながら、呼びかけています。



「誰か、救助の手助けをお願いします。」「あなたは119番に通報してください。あなたは、AEDをとってくださるようお願いします。」と、周囲に援助を求めます。



胸部の上下運動を見ながら、呼吸の有無を確認します。



一分間に120回程度のリズムで、胸の骨を圧迫し、必要に応じて、AEDを使用します。AEDは、玄関の近くに保管されています。



心停止、呼吸停止の様子の際には、迷わず通報・胸骨圧迫とAEDの使用をすることを確認しました。